

エポキシ樹脂塗料

エポマリン

EPOMARINE



エポキシ樹脂塗料

エポマリン

EPOMARINE

「エポマリン」は関西ペイントのエポキシ樹脂系塗料のブランドです。
橋梁、海洋構造物、電力設備、化学プラント、水処理設備など、
過酷な環境におかれる鋼構造物に対して、
それぞれの用途に応じたラインナップを有し、確かな防食性を発揮します。



エポキシ樹脂系塗料は、その強靱な塗膜物性から、外部からの腐食成分の遮断性が高く、塩害や薬品雰囲気などの厳しい環境下で優れた防食性を発揮します。また、接液環境や耐油性を有する製品もあり、タンクの内面や没水環境に適用可能な豊富なラインナップを揃えております。



エポマリンの種類と用途

■エポマリンシリーズ 製品一覧表

適用環境	塗料名	系統	規格
一般外面用	エポマリンプライマー	エポキシ樹脂系下塗塗料	—
	エポマリンHB (K)	厚膜形エポキシ樹脂系下塗塗料	JISなど
	エポマリンHB	エポキシ樹脂系塗料	—
	エポマリンGX	亜鉛めっき面、非鉄金属面用下塗塗料	JISなど
	エポマリン	エポキシ樹脂系上塗塗料	—
	エポマリンシルバー	エポキシ樹脂系シルバー塗料	—
	エポマリン下塗ミストコート用	ミストコート用下塗塗料	JISなど
無溶剤形	エポマリンNS	無溶剤形変性エポキシ樹脂内面用塗料	便覧など
超厚膜形	エポマリンSHB	超厚膜形エポキシ樹脂塗料	便覧など
	エポマリンSHBマイルド	超厚膜形エポキシ樹脂塗料	便覧など
箱桁内面用	エポマリンEX300	変性エポキシ樹脂塗料内面用	便覧など
タンク内面用	エポマリンプライマーPC	タンク内面用エポキシ樹脂下塗塗料	—
	エポマリンPC100上塗	タンク内面用エポキシ樹脂上塗塗料	—
	エポマリンJW	水処理設備用エポキシ樹脂塗料	JWWA
	エポマリンJW低温形	水処理設備用エポキシ樹脂塗料	JWWA
水中部用	エポマリンNB (JW)	水処理設備用エポキシ樹脂塗料	—
	エポマリンNB (JW) 低温形	水処理設備用エポキシ樹脂塗料	—
気中部、耐水部用	エポマリンEX600 (KHD)	変性エポキシ樹脂塗料	—
	エポマリンEX600 (KHD) W	変性エポキシ樹脂塗料	—

※便覧：鋼道路橋防食便覧（公益社団法人 日本道路協会）を示す。

※JWWA：日本水道協会 JWWA K 135：2007 を示す。（規格対象はグレー・黒の18kgセット）

■主な用途一覧

素材		組合せ			用途					
鉄	亜鉛、 アルミニウム	下塗	中塗	上塗	一般環境	海浜環境	化学薬品環境	乾湿交番部	没水部	化学品浸漬部
○	—	エポマリンプライマー	エポマリン	エポマリン	○	○	○	○	—	—
—	○	エポマリンGX	エポマリン	エポマリン	○	○	○	○	—	—
○	—	エポマリンSHB	エポマリン	エポマリン	○	○	○	○	—	—
○	△	エポマリンJW	エポマリンJW	エポマリンJW	—	—	—	○	○	—
○	—	エポマリンプライマーPC	エポマリンPC100上塗	エポマリンPC100上塗	—	—	—	—	—	○

※膜厚設計と工程数は塗装仕様書をご確認ください。

※素地調整は、塗装仕様書をご確認ください。

※タンク内面、化学品浸漬部については、内容物を事前にご確認ください。

※上塗は、耐候性を有する、ポリウレタン樹脂塗料やふっ素樹脂塗料に変更することも可能です。

※上記はあくまでも主な組合せの例です。条件に応じた塗装仕様を組むことが可能ですので、ご不明点はお問合せください。

△：エポマリンJWは、鉄以外にステンレスにも塗装可能です。

それぞれの製品情報は、関西ペイントのホームページに掲載の
製品説明書、塗装仕様書等をご参照ください。

製品取扱上の注意事項（安全衛生他）

- 下記の注意事項を守って下さい。
- 詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照下さい。

予 防 策

- 取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛を着用すること。
- 火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
- 火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
- 裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
- 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

対 応

- 目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
- 吸 入 し た 場 合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
- 飲 み 込 ん だ 場 合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- 漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
- 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

保 管

- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
- 直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
- 子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

廃 棄

- 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

施工後の安全

- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。



関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

北海道 TEL (0133) 64-2424 FAX (0133) 64-5757
東北 TEL (022) 287-2721 FAX (022) 288-7073
北関東信越 TEL (028) 637-8200 FAX (028) 637-8223

東京 TEL (03) 5711-8902 FAX (03) 5711-8932
中部 TEL (052) 262-0921 FAX (052) 262-0981
大阪 TEL (06) 6203-5701 FAX (06) 6203-5603

中国 TEL (082) 262-7101 FAX (082) 264-3285
四国 TEL (0877) 24-5484 FAX (0877) 24-4950
九州 TEL (092) 411-9901 FAX (092) 441-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご了承ください。

(22年03月05日PKO) カタログNo.356

